



長照寺だより

わげんあいご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 摂取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: info@cyoshoji.or.jp

築地本願寺親鸞聖人 750 回大遠忌法要 (門信徒会親睦研修旅行)

平成25年4月29日～30日



庭儀(おねり)風景



浅草寺風雷神門にて

仏法を聴聞(聞く)することに熱心であろうとする人はいる。しかし信心を得ようと思う人はいない。極楽は楽しいところであるとだけ聞いて往生したいと願う人はいる。しかしその人は仏になれないのである。ただ弥陀(阿弥陀如来)を信じておまかせする人が往生して仏になるのである。

(蓮如上人御一代記聞書より)

伝道院



副住職 本持 信宗

私は今年度の四月から九月までの半年間、ご本山のお膝元にある伝道院と呼ばれる場所で、浄土真宗のお法みのりを学ばせていただきました。伝道院とは浄土真宗のご法義を学び、味わわせていただいでいく中で、お法に遇あわせていただいた喜びを、多くの人々と共に喜ばせていただくところでした。しかし、仏法は難しい文字や言葉が多く、皆様と共にお法を喜ばせていただくにも容易にはわかりません。そこで、その難しいお言葉やご文を誰にでも分かるよう、平易な言葉を用い、阿弥陀様や親鸞聖人のお心をお聞かせいただいでいく、ということを伝道院の生活の中から学ばせていただきます。

伝道院の生活は全寮制で六畳一間に二人部屋、朝はご本山にお晨朝参拜じんじょうさんぱいへ行かせていただきます。その後、伝道院へ戻り浄土真宗のご法義を一日中お聞かせいただきます。この朝から晩まで仏法にどっぷり

浸かり、お念仏をお聞かせいただく生活を過ごし、今まさに私が救いの目当てと、阿弥陀様がおはたらき下さっているのだと知らされました。そのお救いのおはたらきは「南無阿弥陀仏」のお名号となり私に至り届き、私に入り満ちて下さっていました。そして今、私の口からお念仏となつて溢あふれ出て下さっているのです。

ある先生がおっしゃっていました。

「残念ですが私には、阿弥陀様のお姿を拝見させていただくことが出来ません。また、阿弥陀様のおはたらきも目にする事が出来ません。しかし、一つだけこの人間の世界にいながら阿弥陀様が間違いないおはたらき下さっているという証拠があるのです。それは、今、私の口からあらわれてくださるお念仏です」と。

私はお念仏とは、自分の意思で称えているとばかり思っていました。しかし、そうでは

なく、阿弥陀様のおはたらきが、お念仏というお相すがたで、私におはたらき下さり、私の口からあらわれ出て下さっているのです。「南無阿弥陀仏」は阿弥陀様ご自身で、おはたらきそのものであります。

このような今まで私になかったお念仏の味わいを、伝道院の生活から得ることが出来ました。それは、多くのお念仏を喜ばれている方々のお姿を拝見させていただく中で、知らせていただきました。伝道院で過ごした時間は、これから僧侶として生きていく、人生の大きな宝となるといただいでおります。

最後になりますが、長照寺のご門徒の方々、長期間お寺を留守にして申し訳ありませんでした。今後はご一緒に阿弥陀様のお法をお聞かせいただきながら、喜びのある人生を共に歩ませていただいでまいりましょう。

称名

築地本願寺親鸞聖人七百五十回大遠忌法要(門信徒会親睦旅行)

平成二十五年四月二十九日～三十日



世話人 齋藤 善治

京都の本山本願寺の大遠忌法要は、一昨年に終了してはいますが、東京の築地本願寺の大遠忌法要は今年四月に行われました。

築地本願寺はリニューアルしたばかりで法要は金色に光る本堂で厳かに行われました。長照寺からは二十五名の参加があり、都内の観光も兼ね浅草観音とスカイツリーにも寄って親睦を深めてきました。

二つのおどろき

私は、京都本山の法要にも参拝していますので今回で二度目の参拝になります。この大遠忌法要に関しては二つの驚きがあり、忘れられない縁に出会いました。一つは、この法要の直前の三月十一日に東日本大震災と原発事故が発生し、同じ浄土系の他の寺院が、この大遠忌法要を中止するような緊急事態となりました。しかし、西本願寺では色々の困難を抱えながらも予定通り開催にこぎつけることが出来ました。連綿と続く宗祖のご遺徳を偲ぶ大切な法要を中断することなく継続できたのです。二つ目は、親鸞聖人が茨城県の稲田から

京都へお帰りになった足跡を私たちが実際に歩いて体験する記念行事に参加しました。私たちは、箱根の芦ノ湖から吉原までの約四十一kmと最後の京都五条大橋から本山までの行程を歩き、法要初日の四月九日早朝本山の開門を待つて入場し拍手で迎えられました。

今後の望み

このたび大遠忌法要を機縁として、親鸞聖人が説いた浄土真宗の「救い」について考えてみました。現代の日本では、あらゆる宗教が持つ意味から離れ、真実の教えが見えなくなっています。それは、加持・祈祷・占いなどに走り、宗教的習慣の維持さえ難しくなっているようです。

浄土真宗では、「今」救われているという教えですが、この根本的な教えが、理解出来にくい世の中になってしまったように思います。正直、私も阿弥陀仏のご本願に救われて、お浄土に生まれるといわれても、何の喜び

も感じないのです。なぜなら、親鸞聖人が活動された鎌倉時代とは、時代背景が大きく変わっているのです。

ですから、現代に生きる私たちにも解るような説き方をもっと研究する余地があるように思えてなりません。宗教離れへの対策として非常に重要なことであり、今回の大遠忌法要を契機として今後このような新しい動きが出てくることを切望して止みません。

合掌



築地本願寺本堂



浅草寺にて



築地本願寺正面

活動報告

平成二十五年度上期

花まつり

お参り後、パントマイマーの「山田とうし」さんのアトラクションを楽しみました。



平成二十五年四月七日
…五〇余名

第三十七回門信徒会親睦ゴルフコンペ

平成二十五年四月十五日
…新沼津カントリークラブ

優勝 近藤 勝信さん
準優勝 元原 郁夫さん
第3位 山口 勝さん



第九回門信徒会親睦ボウリング大会

平成二十五年四月二十一日 …ジョイランドみしま

優勝 藤澤 直樹さん
準優勝 髭 栄子さん
第3位 松本 好子さん



築地本願寺親鸞聖人七五〇回大遠忌法要

(門信徒会親睦研修旅行)

平成二十五年四月二十九日～三十日
…築地本願寺・浅草方面

写真は表紙および3ページ

門信徒会定期総会

平成二十五年五月六日
…五〇余名

おかげ様で、各議案とも
ご承認いただきました。

東京教区仏教壮年会研修会



平成二十五年五月二十六日

… 築地本願寺

先輩方々を敬いながら、
若い者とも共生きの強化団体です。

境内清掃作業・親睦懇親会



平成二十五年七月二十一日

… 一二〇余名

作業終了後のスイカの味は格別でした。

お寺の林間学校（南ブロック門徒子弟研修会）

平成二十五年七月二十九日～三十一日

… 山梨県

静岡・神奈川・山梨県内の小学校1年生、
中学校3年生が集まり、富士山樹海探検等、
楽しいプログラムを行いました。

写真は7・8ページ



合同盆法要（全八回）



平成25年8月13日～15日

… 二二六家族 七十一名

ご先祖様曰く
「皆が元気でうれしいよ。
これからも頑張つて
楽しく生きてほしいな…」

秋季彼岸会法要



平成二十五年九月二十三日

… 一二〇余名

ご講師 本持信慈 住職

第一連区仏教壮年会研修会

平成二十五年十月五日～六日 … 築地本願寺

北海道から関東一円の参加
者のもと、実りある研修会
へ参加してきました。



長照寺門信徒会発足20周年に向けて



総代（門信徒会会長） 高橋 登志雄

春になると桜の名所になりつつあった末広山の麓に、墓苑の開発と小さいお寺が出来たのは四分の一世紀前のことであった。地元の人々は、あれは何宗のお寺で、どんな住職がいらつしやるのだろうか噂をしあった。

それから幾星霜、今では門信徒を始め大勢の人々が集うことのできる本堂も完成し、また、風格のある梵鐘が出来て駿河湾を見下ろす丘の上によりやくお寺らしい姿を整えることが出来た、さらに狭い住居で不便な暮らしをしていた住職一家も新しい庫裏に移ることが出来た。

世間に長照寺の名前も段々と知れ渡り、門信徒会員も七〇〇余軒を越す大寺に成長してきた、お寺の評判は、あのお寺は一風変わっている良いお寺らしい、住職は浄土真宗本願寺派の、布教使の資格を持っており大変熱心な布教活動をしており、またやたらと行事の多いお寺で楽しい旅行なども沢山あるお寺らしいよ、等の噂を良く耳にする。

長照寺が変わっているのではなく日本の仏教徒の減少、寺院の衰退等の原因を作っている多くのお寺の存在が問題なのであって、例えば多額の寄付、お布施の強要、常識はずれの戒名料、葬儀業者と組んだ葬儀の営利化などを見直さなければ葬式仏教の批判がますます強くなるであろう。私たちのお寺は本持住職の強烈な信念と深い知識のもとにお寺の本来あるべき姿を求めている門信徒の集まりであり理想的なお寺を目指す信徒でありたいと願っておる集団であり本来のお寺だと思えます。

住職の長男で後継者としての修業に励んでおりました本持信宗さんが厳しい修業で有名なご本山にある伝道院に入門を許可され半年間の勉強を終えて、大変な難関を突破して布教使の資格を得ることが出来ました、私たち門信徒一同も住職一家とともに心からお祝い申し上げます。とともに長照寺の永遠の発展を心から念じ申し上げます。

今 後 の 活 動 予 定

平成25年

10月10日(木)	門信徒のつどい(仏婦・仏壮研修会)	寶専寺 (伊東市)
10月21日~23日	門信徒会親睦研修旅行	姫路・神戸
11月7日(木)	門信徒会親睦ゴルフコンペ	愛鷹シックス ハンドレットクラブ
11月17日(日)	長照寺報恩講 門信徒会設立20周年記念	本堂 ブケ東海三島
12月1日(日)	境内清掃作業	境 内
12月31日(火)	除夜会	本 堂

平成26年

1月4日(土)	修正会・新年会	本 堂
1月12~13日	ご正忌報恩講	西本願寺
3月20日(水)	春季彼岸会法要	本 堂
4月 日(日)	寺報(第31号)発行	

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。
 ※定例法座は毎月第3土曜日 午後1時より本堂にて開催。
 ※その他に親睦の集いを募集・計画中。

（日頃の忙しさから解放されて
 気持ち軽くなる自分を発見
 できるかもしれません。）

お寺の林間学校（南ブロック門徒子弟研修会）

平成25年7月29日～31日

林間学校のおもい出

三日間、
松本祥英

7月29日からぼくは はじめて林間学校に
さんかしました。はじめの日はすごくたのし
みで、早く友達ちを作りたいとおもっていま
した。その日はゴルフでおもちやを作しまし
た、い外とかんたんてびっくりしました。そ
の後、ワはんのみんなで夕食を食べました。
ワはんのみんなとはすぐ、なかよくなれま
した。つぎの日は、たのしみにしてたふじ
のふうたんけんです。中はすごくさむくて
けしきは 岩がごつごつしてまっくらでこお
かったです。でも、こおりはすぐきれい
かんごうしました。ふうたに入るまでま
ちましたが、がまんしたかいがあ、てひょうし
うされ、きれいな石をもらいました。すごく
うれしかったです。もう帰る日がきてしま
いました。みんながよせがきをして、たくさん
の人からいっぱいメッセージを書いてもら
いました。すごくうれしかったです。ちよっ
「らい年もまた会おうね」と言、てくれたの
でつぎもぎ、たいに さんかしようとおも
います。本とうに、たのしい三日かんでした。
ワはんのみんなまたらい年も会いましよう。



門信徒 松本 祥英（小2）



風穴内の氷だよ



平成25年度上期の行事



鍬入れ式 (株)エスイーアイ
(平成25年6月12日)



鍬入れ式 中野家
(平成25年8月29日)



お寺の林間学校(南ブロック門徒子弟研修会)
(平成25年7月29日～31日)



心の窓を開く

ラジオ法座

FM三島函南 77.7MHz

毎週水曜日

お話/当山住職

朝7時40分(5分間)

●法話をまとめた小冊子第1～5巻が
発行されています。

お尋ねください。

編集後記

- ☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。
- ☆お寺は「よろず相談処」です。
日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。
- ☆次回寺報は、平成26年4月 日(日)発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで

〒411-0044 三島市徳倉1195-817

TEL・FAX 055-988-3900

編集人=長島・菊沢・斉藤・園田